

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公表番号】特表 2007-506945 (P2007-506945A)

【公表日】平成 19 年 3 月 22 日 (2007.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2007-011

【出願番号】特願 2006-525478 (P2006-525478)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/574 Z N A A

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 31 日 (2007.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体における H C C の検査方法において、

- (1) H C C に罹患している疑いのある被検体から血清試料を得、
- (2) 該血清試料中における G P 7 3 又はその断片のレベルを決定し、及び
- (3) 該血清試料中における G P 7 3 又はその断片のレベルと、対照における G P 7 3 の血清レベルとを比較することを含み、

該対照に対する該血清試料中 G P 7 3 又はその断片レベルの上昇が、該被検体が H C C に罹患したことを示す、

被検体における H C C の検査方法。

【請求項 2】

血清試料中における G P 7 3 又はその断片のレベルが、対照における G P 7 3 のレベルに対して、少なくとも 2 倍上昇する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

血清試料中における G P 7 3 又はその断片のレベルを生体分子相互作用検定法によって検出する、請求項 1 又は 2 に記載の方法。

【請求項 4】

血清試料中における G P 7 3 又はその断片のレベルをアプタマーによって検出する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

生体分子相互作用検定法が免疫学的検定法である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

免疫学的検定法が、ウェスタンブロット分析、放射免疫測定法 (R I A)、免疫蛍光検定法、化学発光検定法又は酵素免疫測定法 (E L I S A) よりなる群から選択される、請求項 5 に記載の方法。